

平成30年度

入間市生涯学習をすすめる市民の会
活動報告書

いるまなびと



平成31年4月

入間市生涯学習をすすめる市民の会
<https://irumanabito.net/>

目 次

はじめに	1
1. 活動目標と事業内容.....	2
2. 各部会・プロジェクトの活動内容とまとめ	3
<企画・講座部会>	3
<広報部会>	7
<生涯学習フェスティバルプロジェクト>	10
<視察研修プロジェクト>	13
3. 収支決算と年間スケジュール	16
収支決算.....	16
年間スケジュール	17
むすび.....	19

入間市生涯学習をすすめる市民の会：

いるま生涯学習プラン21（入間市生涯学習推進計画）の狙い：「だれもが生涯にわたって、いつでも、どこでも学ぶことができ、学んだことを暮らしや地域に活かすことのできるまち」を目指して活動を進めています。市民の学習支援を目指して、「市民と行政がそれぞれの強みを持ち寄って両輪として活動する」という協働の意図のもとに平成7年（1995年）に設立した市民のボランティア活動組織です。

生涯学習推進施策への提言・協力、市内の学び情報の発信、新たな学びの仕組みづくりの検討、まちの先生講座の企画・運営、生涯学習フェスティバル企画・運営など、活動は多岐にわたっています。

はじめに

入間市生涯学習をすすめる市民の会は、市民の生涯にわたる学習活動支援を目指して平成7年（1995年）に設立されました。第4次入間市生涯学習推進計画に謳われる、入間市のだれもが生涯にわたって、いつでも、どこでも学ぶことができ、学んだことを暮らしや地域に活かすことのできるまちづくりを推進しています。平成30年度もまさに市民／行政の協働として12名の市民委員（加えて9名の協力委員）と事務局（教育委員会社会教育課）が、一体となって様々な生涯学習推進の活動を進めてきました。

24回目を迎えたいるま生涯学習フェスティバルでは、テーマ『いるまなびと大作戦Ⅲ #仲間 #体験 #発見』を掲げて本年度も盛大な催しになりました。放課後の子どもたちアンケート結果の展示や子ども食堂ワークショップ開催などまちづくり課題に向けたアプローチがありました。また、会場内で「いるまの“わ”」の音楽に合わせて市民が突然踊り出す新企画（フラッシュモブ）も会場を盛り上げました。

7年目を迎えた「まちの先生講座」は、32講座、延べ参加者数385名と着実に広がりを見せ、多くの市民の学ぶ機会につながりました。その裏には、開催枠を増やしたり、運営の協力をいただいたり、公民館の協力がありました。

学びの仕組みづくりの一環として、いるまなびと登録を進めてきました。本年度は104名の登録者を増やして、現在381名の登録総数を得ました。

その他、地域の学習情報を冊子にまとめた「いるま学びの場」の発行、いるまなびとWebサイトの運営、10か所に設置した「生涯学習けいじばん」の運営、私たちの活動紹介「生涯学習通信」の発行、などの活動を推進しました。また、上田自由塾の視察では、市民講師が主体となった講座の仕組みを学ぶことができました。

本報告は、平成30年度の各部会／プロジェクトの活動目標と事業内容をまとめたものです。

「いるまなびと」とは

「いるまなびと」は、「いるま」「まなび」「ひと」「ナビ」を合わせた造語です。個人・団体で活動している市民はもとより、生涯学習活動をしている家族や友人等を支えている市民も「いるまなびと」であると考えています。

現在、市民の会では、地域で仲間と学ぶ市民＝「いるまなびと」として位置づけ、「いるまなびと」を増やすために「まちの先生リスト」登録や「いるまなびと」サイトの構築等、様々な展開をしています。



1. 活動目標と事業内容

<企画・講座部会>

*活動目標

『生涯学習に関する共通的な仕組みづくり』

*事業内容

- ◎7年目を迎える「まちの先生講座」の継続運営
- ◎庁内の関連部署及び公民館、地域の団体／企業等との連携推進
- ◎生涯学習を推進する「学びのしくみづくり」の企画・具体化
(いるまなびとサイトの運営、いるまなびと登録の促進など)

<広報部会>

*活動目標

『生涯学習に関する支援および情報発信』

*事業内容

- ◎「いるま学びの場」発行 ◎エフエム茶笛との連携による効果的な広報活動
- ◎「生涯学習けいじばん」による生涯学習情報の発信及び利用促進
- ◎ホームページ及びメールマガジンによる広報活動
- ◎情報紙「生涯学習通信」の発行 年1回 ◎内部研修会の実施

<生涯学習フェスティバルプロジェクト>

*活動目標

『市民と行政との協働によるフェスティバル開催を通じ、地域団体の学習成果の発表の場、および各種学習情報の提供』

*事業内容

- ◎主催団体として時代に即し市民ニーズに見合うフェスティバル全般について方針立案、提案、実行
- ◎市民の会の活動アピール（活動展示やまちの先生紹介など）

<視察研修プロジェクト>

*活動目標

『生涯学習に関する新しい動きを把握』

*事業内容

- ◎生涯学習先進地の視察調査

2. 各部会・プロジェクトの活動内容とまとめ

<企画・講座部会>

部会長：関谷

部会委員：飯島、佐藤、春名（恭一）、望月、山増、渡部

*活動目標

『生涯学習に関する共通的な仕組みづくり』

*事業内容

- ◎7年目を迎える「まちの先生講座」の継続運営
- ◎庁内の関連部署及び公民館、地域の団体／企業等との連携推進
- ◎生涯学習を推進する「学びのしくみづくり」の企画・具体化
(いるまなびとサイトの運営、いるまなびと登録の促進など)

*活動実績

◎市民講座「まちの先生講座」の開講（7年目の試行）

重点項目：

- ✓ 運営協力者の活用
- ✓ まちの先生をスタッフに活用
- ✓ 公民館活用の重点化
- ✓ いるまなびとのしくみの具現化（サイトの構築・いるまなびと登録推進）

【実施概要】

参加者数：385名（延べ） ※昨年度：396名（延べ）

実施講座数：32講座（講師32名）

※募集は36講座、内4講座が定員未満で開講に至らず

実施コマ数：3コマ（14講座、昨年9）

2コマ（9講座、昨年9）

1コマ（9講座、昨年12）

実施期間：10月15日～11月30日（10時～17時の3区分の時間帯）

会場：市民活動センター（イルミン）、入間市博物館（青丘庵）、公民館12
か所（中央公民館、黒須公民館、高倉公民館、東町公民館、久保稲荷
公民館、東金子公民館、金子公民館、二本木公民館、藤沢公民館、東
藤沢公民館、藤の台公民館、西武公民館）（昨年度実施公民館：10
か所）武蔵豊岡教会、アドバンスカラーセラピー豊岡本部

スタッフ：延べ69名（昨年度58名）市民の会委員、市民の会協力委員、まち
の先生、事務局



【実施講座】

講座名	氏名	コマ数
茶道の世界 シリーズ⑦ 正午の茶事基本講座	久下宗光	2
古文書初心者入門講座	宇野藍子	3
“スキルアップ”川柳講座	開坂武彦	3
脳の活性化につながる大人も子供もつくれる紙ヒコーキ	国本勝次	2
気軽に作れる飛び出す絵カード	山崎紀彦	2
透かし窓に描く月光とススキ	山増智子	1
覚えられる、忘れない英単語記憶法	新井栄二	3
ワンランク、アップの英会話へ	宮下政博	3
日本語英語にさようなら！英語の聞き取り力と発想力をアップⅡ	関谷敦子	2
いるまの近代化、現代への証を訪ねて	岡野 亘	2
ジョンソン基地時代を考える あのころ人間にはアメリカがあった	宮越喜彦	3
城の見方・歩き方（北海道・東北地方の城の魅力）	指田博行	3
地震の分からないこと	佃 為成	1
私たちの生活と株式～意外と知らない株式の役割と魅力～	池田洋子	1
傾聴ボランティア養成講座実技編	鈴木由美子	2
心と体に優しい玄米菜食でセルフケア	矢口洋子	1
はじめてのハタヨガ+ヨガマッサージ	友絵	3
もっと知ってほしい乳がんのこと	杉本敬子	1
椅子ヨガで安全安心に体の喜ぶヨガを楽しみましょう	不二山礼子	1
未経験者OK！心と体をやさしくほぐすシンプルヨガ	リエ	1
入間市の秘境を歩いてみませんか！	福地朝男	3
カラーセラピー&コーディネート味方になる色は？	荒岡真由美	1
家を片付けてハッピーライフをはじめよう！	ひのさおり	3
「捨てられない」は解決できる！	牛久葉子	2
楽しいギター入門-ビートルズからクラシックまで-	渡部直也	2
三味の音に乗せて、江戸情緒を愉しみましょう	稲邑香乃粹	1
とっても簡単！サークルのホームページを作ろう	佐藤 享	3
Excel 初級（パート社員の時間・給与管理）	弘中治雄	3
インスタ映えする写真撮影 旅の写真が面白くなる	田中孝昌	3
初心者パソコン講座『パソコンでインターネットを使いこなす』第二弾	安藤正弘	3
舞妓の舞を覚えよう！浴衣の着方から作法を教えます	若柳正桜	2
見た目年齢をマイナス5歳に見せる術!!（姿勢、体型カバー、色の変身術）	古川美恵子	3

講座の様子



【参加者の声・まちの先生の声】

◇参加者の声（抜粋）

- ・茶事の流れをていねいに教えていただき良い勉強になりました。
- ・参加されている方々がとても熱心でした。
- ・正直なところ、むずかしかったが、もう一度資料を読み直してみたい。
- ・先生のやさしさに好感。もっと沢山の人の参加してほしい。
- ・基礎とポイントを短い間に教えて頂き、アレンジに挑戦してみたい。
- ・はじめての経験。楽しい時間ありがとうございました。
- ・今回は大変興味深かった。新鮮で効果的な英単語記憶法と実感した。
- ・参加者が同年代の方で安心して一緒に勉強できました。
- ・人生哲学（語学勉強の方法）をおしえていただいた！
- ・様々な学識者が居られ活動されて居る事を知る。
- ・講師がとても克明に年表、資料を整えて講義してくださった。
- ・城とその時代の人々の大変さが伝わって城を見る時が楽しみになった。

◇まちの先生の声（抜粋）

- ・アンケートを書いていただく時間の設定も必要でした。
- ・講座の内容が盛りだくさんで時間が足りなくなってしまった。
- ・皆さんと楽しく過ごすことができとても良かった。
- ・もっと多くの市民が講座に参加できるようになると良いのだが、もう少し（30分）時間があると良い。
- ・当日のスタッフも兼任したが、市民の会の挨拶は資料配布の形にしてはスタッフ兼任時、記録写真については公民館職員にお願いする必要あり。
- ・受講生のレベルに合わせて資料集めが必要なので、いつも頭を悩ます。
- ・突然のキャンセルもあるので、追加で当日の参加も認めて欲しい。
- ・全3回講座で、部分的に参加する方の受講料は決まっていないのか。
- ・パソコンの設定、機材の準備をスタッフさんに協力してもらって助かりました。
- ・講座期間は年1回ではなく、もう少しあると良いと思います。
- ・受講生の皆さんを見ていると、講師の自分も更に指導力を磨く必要あり。
- ・受講生の表情が、講座最初と最後でガラッと変わったのが印象的。

◎庁内の関連部署及び公民館等、地域の団体／企業等との連携推進

- (1) 入間市民大学（自治文化課）で「まちの先生講座」及び「いるまなびと」登

録の案内と宣伝

- (2) 公民館でのまちの先生講座開催数の増加（平成30年度12か所）
- (3) 公民館事業でのまちの先生利用数増加（平成30年度11回の講師依頼）
- (4) 公民館職員と年度初めに情報交換会実施（@金子公民館）

◎生涯学習を推進する「学びのしくみづくり」の具体化

- (1) 学びの体系化についての検討（仕組みの理想型と具現化へのステップを描く）
- (2) いるまなびとサイトの構築・運営・いるまなびと登録促進

※メール登録者142名（昨年より37名増）、郵送登録者239名（昨年より67名増）（平成31年3月現在）

目的：部署を超えた情報統合・市民目線の情報発信・学ぶ市民のデータ化

対策：登録呼びかけチラシ作成、市民大学等でのチラシ配布、缶バッジ作成・配布・エコバッグ配布

- (3) いるまなびとのWA！発行（秋号）、メルマガの発信（月1回）

目的：アナログ・デジタル双方での情報発信

- (4) まちの先生登録推進

- (5) 生涯学習フェスティバルにおけるまちの先生講座の実施（5件）

まちの先生PRの場の設置（7年目）

まちの先生の活用、活性化、制度の周知を目的

【来年度の課題】

- 「まちの先生講座」10年目（2021年）を目途に恒常化の方向へ

- ・スタッフ公募の検討
- ・まちの先生運営参画の推進
- ・講座開催場所の工夫、期間拡張型の試行

- 公民館との連携：引き続き情報交換会等開催、理解と協力を得る努力

- いるまなびとの仕組みの発展・周知（庁内事業との連携・促進）

*総括

市民を地域に生かすしくみ、「まちの先生講座」（7年目）は、着実に広がりを見せ、多くの市民の学ぶ機会につながりました。講座の運営にあたっては公民館での開催を増やし、12館を利用させていただき、7年間の信頼関係に基づきスムーズな講座運営が実現しました。

学びたい市民に情報を届けるしくみ「いるまなびと」に登録した市民には、毎月のメルマガといるまなびとのWA！（秋号）にて情報を届けることができました。

市民の会のサイト「いるまなびと」では「各種学び情報」「まちの先生」「フェスティバル」「市民の会」「いるまなびと登録」のそれぞれについて情報を発信しました。サイトを訪れて「いるまなびと」に登録する市民も増え、277名から381名へ約37%増加しました。市民が生涯学習情報にふれる機会に貢献しています。

<広報部会>

部会長：佐藤

部会委員：岡崎・春名（紀子）・長崎・増村・渡部



*活動目標

- | | |
|--------------------|---------------------|
| (1) 「生涯学習活動に関する支援」 | 事業内容の番号 (1) (3) (6) |
| (2) 「生涯学習に関する情報発信」 | 事業内容の番号 (4) (5) |
| (3) 「市民の会の活動PR」 | 事業内容の番号 (2) (4) |

*事業内容

- (1) 「いるま学びの場」発行
- (2) エフエム茶笛との連携による効果的な広報活動
- (3) 「生涯学習けいじばん」による生涯学習情報の発信及び利用促進
- (4) ホームページ及びメールマガジンによる広報活動
- (5) 情報誌「生涯学習通信」の発行（年1回）
- (6) 内部研修会の実施

*活動実績

◎「いるま学びの場」発行

- (1) 「いるま学びの場」は市内のサークル・教室を掲載し、市民の生涯学習を始めるお手伝いをしている冊子です。文化系活動・社会系活動・体育系活動などのサークル、カルチャースクールの情報が長年にわたり蓄積されており、平成29年度版をもとに最新の情報としました。市役所、公民館等で配布していますので多くの方に役立てていただきたいと思いますと考えております。平成30年8月に発行しました。

◎エフエム茶笛との連携による効果的な広報活動

- (2) 昨年度に引き続き、エフエム茶笛との連携による広報活動は、今年度も生涯学習フェスティバル開催前の11月5日（月）～12月1日（土）（計31回）12時台後半にコマーシャルを行いました。この時間帯は市庁舎にも放送が流れており、さらに多くの人に聞いていただけました。また、生涯学習フェスティバルの関係者による8分間の生放送を11月19日（月）～30日（金）の間で4回実施しました。周知していただくためには、毎年やり続けることが必要と考えます。

◎「生涯学習けいじばん」による生涯学習情報の発信と利用促進およびメンテナンス

- (3) 「生涯学習けいじばん」が設置されて7年が経過しました。掲示の利用状況は表とグラフのとおりです。

当初、アミーゴ前のけいじばんの補修を計画しておりましたが、9月ごろイル

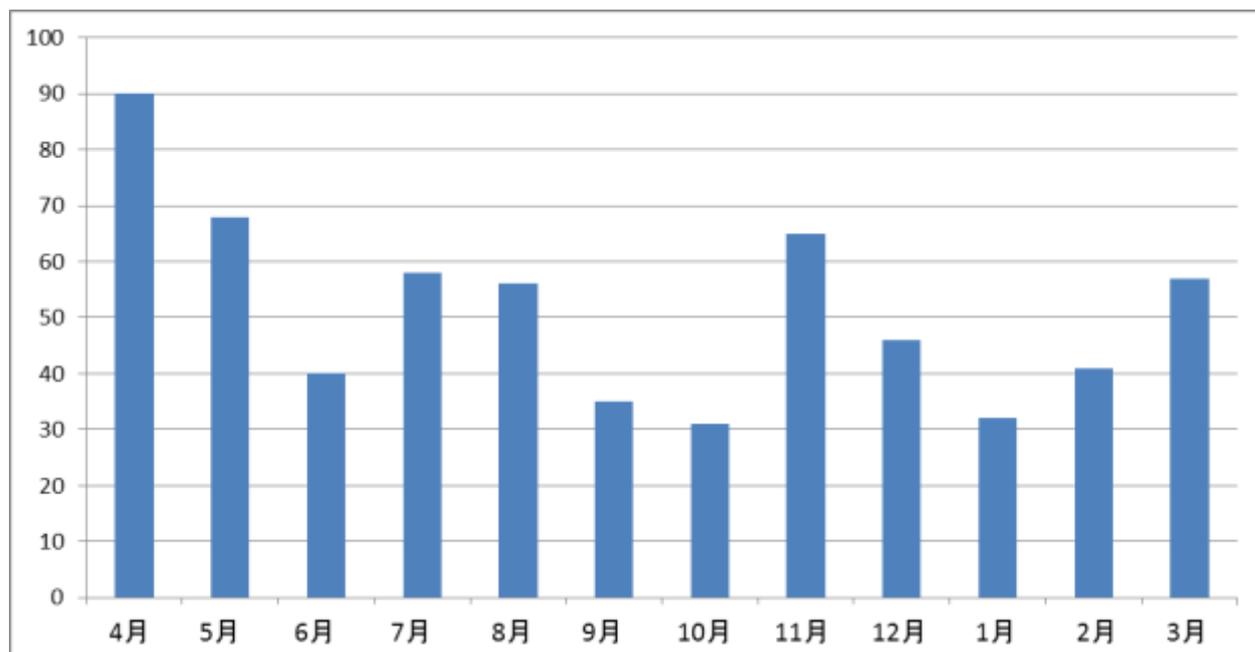
2. 各部会・プロジェクトの活動内容とまとめ

ミンのけいじばんの屋根部分が紛失し、10月には台風により金子のけいじばんが倒れてしまいました。その後、平成31年2月にアミーゴ前のけいじばんの老朽化が進んでいたためここも補修をしました。

平成30年度 生涯学習けいじばん利用率 ※掲示板1箇所につきポスター最大6枚 (件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
富士見公園	9	8	5	6	5	3	3	7	5	3	4	5	63
向陽台広場	11	10	5	6	6	5	4	7	5	3	5	7	74
新しきを知る公園	10	9	5	6	5	3	4	7	5	3	5	6	68
アミーゴ	10	10	5	6	7	3	4	7	5	4	4	6	71
さくら公園	11	6	3	6	6	3	4	6	5	3	4	5	62
金子駅前	10	6	4	6	5	3	修繕	3	4	3	4	5	53
博物館	10	6	3	5	5	4	3	7	4	3	4	5	59
イルミン	11	7	6	6	6	4	3	7	4	3	4	6	67
市民体育館	体育館の工事のため			5	6	3	3	7	4	3	3	6	40
児童センター	8	6	4	6	5	4	3	7	5	4	4	6	62
合計	90	68	40	58	56	35	31	65	46	32	41	57	619

[月で見る利用件数]



アミーゴけいじばん補修前



補修後



(4) ホームページ及びメールマガジンによる広報活動

(<https://irumanabito.net/>) 軌道に乗っており多くの情報を告知することができました。生涯学習を進める市民の会の記録としても大変重要なものとなっています。

また、メールマガジン「いるまなびとのWA！」も毎月1日に発行し、11月には生涯学習フェスティバルの増刊号を発行しました。

(5) 情報誌「生涯学習通信」の発行（年1回）

「生涯学習通信」V o l . 2 1 を2月に発行しました。「生涯学習フェスティバル」や「まちの先生」の状況を紹介しました。

(6) 内部研修会の実施

平成30年11月20日（火）に内部研修としてW o r d の中級講座を実施しました。この研修はW o r d を効率よく使うための機能を紹介しました。

*総 括

台風による金子の「生涯学習けいじばん」が倒れたという予定外のことありましたが、補修を行っている間に市民の方から無くなって寂しい、早くできて良かったと言う声をいただき、「生涯学習けいじばん」が一定程度役に立っていることを実感できました。継続的に「生涯学習けいじばんの」メンテナンスを行ってゆく予定です。

「生涯学習通信」は生涯学習フェスティバルとまちの先生の記事でいっぱいになってしまいました。より多くの情報を載せるように工夫してゆきたいと考えております。

・＜生涯学習フェスティバルプロジェクト＞

PJリーダー：関谷

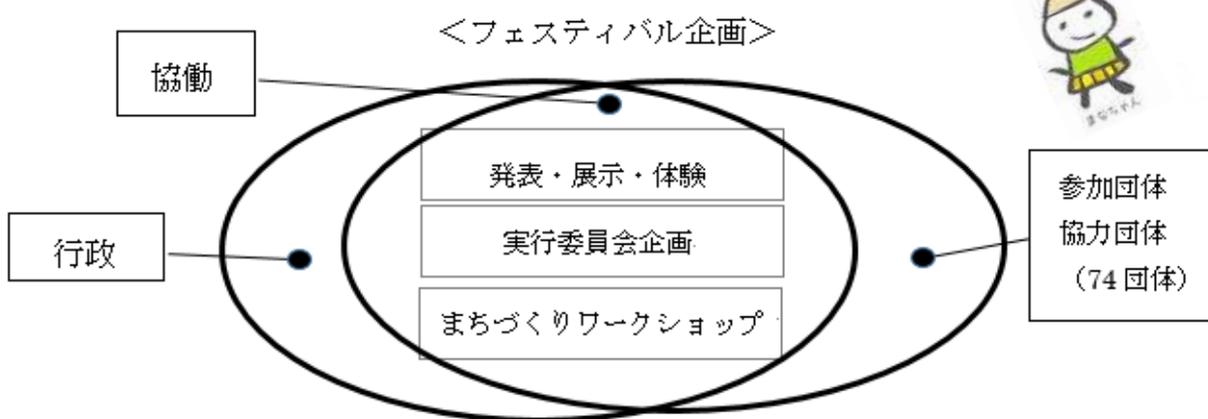
PJ委員： 飯島・岡崎・幸森・佐藤・長崎・春名（恭一）・春名（紀子）・増村
望月・山増・渡部

（フェスティバル実行委員長：山増 同副実行委員長：関谷）



＊活動目標

『生涯学習フェスティバルの開催を通じ市民と行政の協働によるまちづくりを目指す』



＊事業内容

◎「第24回いるま生涯学習フェスティバル」の方針の立案、提案、実行



＊活動実績

◎実行委員会会議 7回/ その他、総務委員会、広報委員会、事業委員会を開催

◎「第24回いるま生涯学習フェスティバル」の方針の立案、提案、実行

テーマ：『いるまなびと大作戦Ⅲ #仲間#体験#発見』（#ハッシュタグ）

日時：平成30年12月2日（日）9時45分～15時15分

会場：入間市産業文化センター・児童センター・彩の森入間公園他

主催：入間市、入間市教育委員会

入間市生涯学習をすすめる市民の会、（公財）入間市振興公社

主管：第24回いるま生涯学習フェスティバル実行委員会



＜フェスティバル企画＞

発表・展示・体験

1F 和室では茶道連盟、民謡連盟によるお点前の体験や三味線の体験、ホールでは6チームの参加によるキッズダンスの発表がありました。2F学習室での認知症サポーター養成講座やオレンジカフェで気軽に



2. 各部会・プロジェクトの活動内容とまとめ

相談できるコーナーもあり、集会室では20団体余りの展示や体験で大勢の方が楽しんでいました。3F小会議室は初参加のWalkin' Jazz Clubのジャズの鑑賞や図書館棟2Fの100%飛ぶたこづくりなど、どの団体も毎年、工夫をこらしています。



実行委員会企画

- ・ 参加型コンサート「昭和発見！みんなで歌おう懐かしのうた」
- ・ ブロックエキスポ
- ・ 「放課後の子どもたち」アンケート第二弾
- ・ 雨続先生のどうぶつしょうぎから始める将棋教室
- ・ とにかく体験コーナー～出張！まちの先生ミニ講座～
- ・ 初心者スマホ講座～スマホを体験！発見！～
- ・ コンサートの最後に生フェスオリジナル曲「いるまの“わ”」をみんなで合唱しました。



幅広い年齢層が楽しめるものになりました♪



まちづくりワークショップ

- ・ 子ども食堂ワークショップⅢ「子ども食堂を地域みんなの居場所にしよう」
- ・ 「高齢化でまちづくり大作戦！Ⅱ」～オレンジカフェと声かけ運動～
- ・ こどもがつくるまち～いきいきいるティータウン～

子ども食堂や声かけ運動は継続して行っており、更に広がりをもった活動になっているようです。



その他

主催団体の市民の会では三市交流の場として、近隣の所沢市・狭山市の生涯学習推進団体の連携し、紹介をしています。屋外では「世界の屋台村」として、カレーやケバブやウィナーなどお腹を満たすお店がありました。会場を盛り上げるため、実行委員+公募メンバーによるフラッシュモブや埼玉県と入間市のゆるキャラ大集合や体験ラリーは大盛況でした。



(オープニング風景)



(フラッシュモブ)



(フィナーレ)

*総括

テーマのサブタイトルの「#仲間 #体験 #発見」は現代を意識してSNS（インスタグラム）のハッシュタグをつけ、若い世代の来場者を期待しましたが、あまり効果はありませんでした。しかし、企画の中でスマホ講座や将棋教室など公民館事業として発展させたいという声が上がりました。「声かけ運動」、「放課後の子どもたちアンケート結果」、「子ども食堂ワークショップⅢ」などはまちづくりの課題であり、フェスティバルの目標のまちづくりです。また、会場を盛り上げる新企画として公募市民+実行委員によりフェスティバルのテーマソング「いるまの“わ”」に合わせて会場内でフラッシュモブを実施しました。

次年度は会場が変わるため、周知や部屋のレイアウトなど打ち合わせをいつになく綿密にしていくようです。

2. 各部会・プロジェクトの活動内容とまとめ

<視察研修プロジェクト>

P Jリーダー：幸森

P J 委員：岡崎・長崎

視察日時：平成30年11月6日（火）7時30分～18時30分

視察地：長野県上田市神川地区公民館ホール及び上小教育会館

内容：上田自由塾の視察（講座の見学と塾運営等について）

参加者：（会員）渡部、山増、岡崎、佐藤、関谷、長崎、春名（恭一）
増村、幸森

（協力委員）桑原、小暮、土屋

（社会教育課）近藤、齋藤（全14名）

目的：当会が推し進める「まちの先生」P Jと同様な事業「上田自由塾」を展開している上田市の塾運営方法等を探り、今後のまちの先生のヒントを見つけることを目的とした。

内容：①上田市神川地区公民館（10時30分～11時）

公民館内で開催されていた上田自由塾の講座「太極拳の基礎（太極拳が健康に良い訳）」（小出義崇講師）を見学した。公民館の大きなホールで生徒15、6名の生徒が輪になり、その中心に講師がいて太極拳の型などを教えていた。みんな息をのんで見学した。



《研修地である上小教育会館へ移動、会館の近くの「信州蕎麦の草笛上田お城前店」で上田市のスタッフと昼食をとる。最も楽しいひと時》

②上小教育会館（13時～14時30分）

2階の会議室にて研修を行う。石川副塾長の司会により進められる。滝沢塾長より、上田市の概況について、上田自由塾の現状についての説明があった。

その後、藤松運営委員長より、塾の組織と運営体制について、講座の企画から実施までの仕組みと講座受講者の状況について、市民への講座の情報提供について、住民ニーズの把握方法について、他生涯学習関連団体との連携について、塾運営にあたっての課題について等の説明があり、その後質疑応答となった。

- ・自由塾の基本的考え方「誰でも先生、誰もが塾生」
この考え方について、市では当初懸念を持っていた。
- ・平成17年度開塾、平成30年度は14回目。(講師数27人→105人、講座数36→195、受講生556人→2819人)
- ・公民館とのカブりは多分にある。
- ・自由塾は受講料が安いと思われている。(一コマ/12回/6,000円/年)
- ・自由塾の運営は、運営委員会が実施し、講師4名、塾生1名、塾長1名、副塾長1名、塾長推薦若干名から構成されていて現在は9名。総会は講師会から選出された代議員16名で構成。
- ・塾生名簿は作成するが、はがき等は講師が対応。
- ・塾全体での保険等はかけない。各講師の判断による。
- ・各塾による成果発表を年1回開催。

この塾の運営にあたっては、ほとんど行政の手によらず講師や塾生及び塾長といった塾に関わる人たちで行っていることが、特にまぶしかった。この会議の後、上田市の方たちに県民歌である「信濃の国」を聞きたいと所望したところ、快く受け取れスタッフ全員起立して歌ってくれた。入間からの参加者一同、真に心を打たれ惜しめない拍手を送った。



感想：視察を受けての各自感想

- ・まちの先生講座は公立だが、上田市自由塾は私立。
- ・組織がしっかりしていて、自己評価や課題の抽出等ができています。
- ・講師や塾生の参加者を増やすには、運営に講師の協力が必要と感じた。
- ・講座決定の通知を講師自らはがきを出すことに驚愕。
- ・入間と同様な事業なのに、様々な相違点が発見された。
- ・講師が講座運営に携わっていることに、感動した。
- ・運営委員会が事務局員を雇って運営していることにびっくりした。
- ・自由塾を学んで、まちの先生講座の在り方を考えるヒントがある。

2. 各部会・プロジェクトの活動内容とまとめ

- ・講師自ら連絡調整や集金等が行われている。
 - ・入間では運営を講師に任せることに不安が多い。講座拡大のネックか。
 - ・講師が複数講座を開催し、主体的に関われる仕組みになっている。
 - ・講座は廉価で多岐にわたった種類が魅力的である。
 - ・講座の冊子が立派なものであったことに感動。
 - ・市民の発想で取り組んでいることに感動。
- といった内容の感想が寄せられた。

*総括

今年の視察地長野県上田市は、人口約16万人の都市で、地方都市とはいえ古代には東山道が通り、信濃の国府並びに国分寺がおかれ、また、戦国時代には真田氏が上田城を築き、上田のまちの礎ができた。その頃からの子孫が町を形成している。そこで開校されている上田自由塾は、正しく市民が主体となって運営されていることに、参加者全員、「なんで市民だけでそこまでやれるの？」と度肝を抜かれた感じがした。

大正時代に農村青年が中心となって作り上げられた「上田自由大学」が現在の生涯学習の先駆けになっているとの説明があったが、正しく住民が主体の塾が運営されており、歴史的な背景を痛切に感じた。話を聞いていて、上田市では協働という概念がないようにも感じたが、逆に考えれば、私たちは余りにも協働という概念にこだわり過ぎているのではないとも感じられた。入間市は、上田市の土壌や空気、水とは違うけれども、人々の生涯学習に対する思いは変わらないと思うので、上田自由塾を参考にして入間らしいまちの先生講座の事業が、より一層素晴らしいものへと成長させていきたいと思う。



3. 収支決算と年間スケジュール

収支決算

平成30年度 入間市生涯学習をすすめる市民の会 収 支 決 算 書

(収入) (単位:円)

科 目	予算額	決算額	説 明
補 助 金	760,000	760,000	市補助金
繰 越 金	0	0	
諸 収 入	0	2	預金利子
合 計	760,000	760,002	

(支出) (単位:円)

科 目	予算額	決算額	説 明
総務費	115,000	115,057	
事務費	105,000	105,247	PC、ロッカー借上げ代等
印刷製本費	10,000	9,810	事業報告書用色上質紙
事業費	640,000	636,561	
企画講座	130,000	124,324	まちの先生講座
広報	250,000	251,749	通信・CM・けいじばん等
フェスティバル	130,000	129,518	フェスティバル事業費
視察研修	130,000	130,970	上田市視察研修
その他	0	0	
予備費	5,000	0	
合 計	760,000	751,618	

収 入 (円) 支 出 (円) 残 金 (円)
760,002 - 751,618 = 8,384

上記のとおり、報告いたします。

平成31年 4月 1 日

入間市生涯学習をすすめる市民の会

会 長 渡部 直也

会 計 増村紀綏子

会 計 長崎 彩子



【監査報告】

平成30年度入間市生涯学習をすすめる市民の会収支決算について、さる 4月 1 日に関係諸帳簿及び関係書類を審査した結果、いずれも適正であることを認め、報告いたします。

監 事 幸森 康夫

監 事 春名 恭一



3. 収支決算と年間スケジュール

年間スケジュール

平成30年度生涯学習をすすめる市民の会スケジュール（毎月更新）

	通年事業	4	5	6	7	8
市民の会 全体 ※幹事会はメーリングで 意見調整 (予算115,000円)	定例会	定例会(4/17)	定例会(5/15) ※事業・予算確認	定例会(6/19)	定例会(7/17)	お休み
	開催場所	市民活動センター	市民活動センター	市民活動センター	市民活動センター	市民活動センター
	予算					
	全体事業	ロッカー代	教育長室にて市民の 会説明(5/30)	サーバーレンタル費用 4838 ポスター・展用消耗品898		
予算	2,000		5,736			
	115,057	2,000	0	5,736	0	0
企画・講座部会 関谷・佐藤・春名(恭 一)・望月・山増・渡部 (予算130,000円)	まちの先生講座(7年 目)		部会(5/2) まち先交流会郵送代	部会(6/21) まちの先生連絡会の 通知送付費3312	まち先生連絡会(7/6) まちの先生連絡会贈い 1911 欠席者通知828	モバイル・ルータ借上 げ
	予算		4,592	3,312	2,739	31,602
	学びの仕組みづくり				まちの先生講座チラ シ用用紙	いるまなびと登録者送付 用封筒3321 いるまなびとのWA! 秋 号郵送代15466
	予算				9,252	18,787
	124,324	0	4,592	3,312	11,991	50,389
広報部会 佐藤・岡崎・春名(紀 子)・長崎・増村・渡部 (予算250,000円)	HPの充実		掲示板メンテナンス 代	部会(6/20)		イルミン掲示板修繕 費
	予算		5,832			3,432
	仲間を増やす					学びの場製本
予算						127,008
	251,749	0	5,832	0	0	130,440
フェスティバルP 山増・全員 (予算130,000円)	実行委員会参画		実行委員会(5/25)	事業委員会(6/14)	実行委員会(7/24)	実行委員会(8/23)
	予算					
	フェスティバル運営					
予算						
	129,518	0	0	0	0	0
視察研修P 幸森・岡崎・長崎 (予算130,000円)						
	予算					
	130,970	0	0	0	0	0

3. 収支決算と年間スケジュール

9	10	11	12	1	2	3
定例会(9/18) 市民活動センター	定例会(10/16) 市民活動センター	定例会(11/20) 市民活動センター	定例会(12/18) 市民活動センター	定例会(1/15) 市民活動センター	定例会(2/19) 市民活動センター	定例会(3/19) 市民活動センター
						パソコン79040 報告書用表紙9810 台車13305/HDMIケーブル 1710
0	0	0	0	0	0	107,321
	まちの先生講座決定通知 送付費13390 まちの先生講座通知送付 費744		まちの先生交流会通 知送付費	まちの先生講座アン ケート送付費	まちの先生交流会まかな い1944 まちの先生交流会資料印 刷用インク1059	まちの先生更新通知 送付費
	14,134		4,510	2,120	3,002	5,404
						プリンタ用インク11098 まちの先生連絡用ラベル シール7776
						18,874
						まちの先生事務用ファイル 3996 まちの先生講座用バッグ 2000
0	14,134	0	4,510	2,120	3,002	30,274
		金子掲示板修繕費				アミーゴ掲示板修繕 費
		28,998				29,131
		FMチャッピー広報		生涯楽習通信		
		54,000		3,348		
0	0	82,998	0	3,348	0	29,131
実行委員会(9/11)	実行委員会(10/18)	実行委員会(11/15)	前日準備(12/1) フェスティバル(12/2) 実行委員会(12/20)	フェスティバル報告書 用用紙		
	フェスティバル用ポスター ちらし114,480 フェスティバル事業用チラ シ1642	フェスティバル用消耗品		1,540		
	116,122	11,856				
0	116,122	11,856	0	1,540	0	0
		上田市視察研修				
		130,970				
0	0	130,970	0	0	0	0

むすび

本報告では、平成30年度の各部会／プロジェクトの活動目標と事業内容をまとめました。本年度も引き続き、「いるくん、まなちゃん、びいとさん」のキャラクターを活用して、生涯学習のキーワード「いるまなびと」を、広く市民に生涯学習を定着させる活動に力点を置きました。

今後も引き続き、「いるまなびと」を生涯学習のキーワードとして、市民や行政職員へのアピールを継続し、「だれもが生涯にわたって、いつでも、どこでも学ぶことができ、学んだことを暮らしや地域に活かすことのできるまち」を目指した活動を推進していく予定です。



平成31年3月31日現在

委員

飯島 静江	岡崎 幸子
幸森 康夫	佐藤 享
関谷 敦子	長崎 彩子
春名 恭一	春名 紀子
増村 紀綏子	望月 雅枝
山増 智子	渡部 直也

協力委員

今井 誠喜、岡野 こずえ、岡野 亘、
栗原 正明、桑原 良博、小暮 欽作、
須崎 隆司、土屋 修、人見 友章

問い合わせ先

入間市生涯学習をすすめる市民の会事務局
(入間市教育委員会 社会教育課)

〒 358-8511

入間市豊岡1-16-1

TEL 04-2964-1111 内線4124・4125